

計画の考え方

(1) みんなで推進する中山間地域の振興

中山間地域では、阿蔵山の産業用地開発や三遠南信自動車道整備など大型プロジェクトが進行中です。特に三遠南信自動車道は地域発展に大きく寄与することが期待されています。これらを好機と捉え、市民、市外の方、各種団体、企業や行政等が協力して中山間地域の振興施策を進める必要があります。

(2) 住民ニーズに基づく施策の重点化

2023（令和5）年度に実施した集落座談会、中山間地域住民アンケート、都市部市民アンケートに加え、地域の自治会、NPO法人、各種団体、高校生や大学生等との意見交換を通じて、中山間地域の課題や将来の理想像が明らかになりました。これらの意見を踏まえ、重点的に取り組むべき施策を抽出しました。

(3) 自主的な取り組みに対する積極的な支援

これまで、地域の自治会やNPO法人、各種団体などの主体による自主的なまちづくりの取り組みは、それぞれの地域の特性等を活かして様々な成果を上げてきました。市は今後も地域の特性やニーズを踏まえた、自主的な取り組みを積極的に支援していきます。

計画の概要

(1) 基本理念

自然との調和、豊かな暮らし、あふれる魅力～浜松の中山間地域から新たな息吹～

都市部の暮らしをも支える中山間地域の多面的機能から着想を得ており、人口の減少、少子化、高齢化、地域コミュニティの弱体化など中山間地域が抱える課題の解決を通じて、新たな地域づくりの形が浜松市全体さらには市域を超えて波及することを期待して設定しました。

(2) 目標

①中山間地域の市民が、地域に対する「愛着」や「誇り」を持ち、笑顔で幸せを実感して生活できる、持続可能な地域社会の構築を目指します。

中山間地域の市民が住み慣れた地域に対する愛着などを持って、すべての世代が将来にわたって幸福感や、満足感を持って生活（ウェルビーイングな状態）を続けられるよう、地域の住民が主体的に地域の課題解決や発展のために行う取り組みを支援するとともに、SDGs やカーボンニュートラルの視点を持ち合わせた施策を展開することにより、循環型社会の実現や持続可能な地域社会の構築を目指します。

②みんなが「中山間地域は魅力的・大切な地域（浜松の宝）である。」と思える地域を目指します。

市民はもちろん、市外の方、関係人口、交流人口、各種団体や企業等を含めた「みんな」が中山間地域の持つ魅力や役割を認識して、「中山間地域は魅力的であり、大切な地域（浜松の宝）である。」と思える地域を目指します。

第3次浜松市中山間地域振興計画(案)概要版

2025(令和7)年度から2029(令和11)年度

中山間地域の役割

中山間地域の森林は、土砂災害を防ぐ機能のほか、大気中の二酸化炭素を吸収して地球温暖化の進行を緩和する機能や水源を涵養する機能があります。また、中山間地域で育まれた水は、飲料水のほか、工業用水、農業用水として都市部の隅々まで行き渡ります。さらに、中山間地域の水力発電所で作られた電気は、環境にやさしい電力として大都市圏にも供給されています。加えて、浜松市沿岸地域に整備された防潮堤にも中山間地域の土が使われています。

このように、中山間地域は地域住民の生活の場としてだけでなく、都市部の市民生活も支える重要な役割を担っています。



【浜松市中山間地域振興計画対象地域】

- 天竜区の全域
- 浜名区引佐町北部
(旧鎮玉村・旧伊平村地域)
大字: 伊平・川名・渋川・四方浄・田沢
兎荷・西久留女木・西黒田
東久留女木・東黒田・別所・的場

中山間地域と全市域の比較

	浜松市全域 (浜名湖含む)	中山間地域	市全域に 占める割合
面積	1,558.11km ²	1,022.81km ²	65.64%
森林面積	1,023.85km ²	923.99km ²	90.25%
人口	786,792人	27,798人	3.53%
高齢者人口	226,421人	13,190人	5.83%
高齢化率	28.78%	47.45%	-
人口密度	505人/km ²	27人/km ²	-

※面積: 浜松市統計書(令和5年版)による。

※静岡県森林情報システム(2024(令和6)年3月31日現在)による

※第6次国有林野施業実施計画書(2024(令和6)年4月1日現在)による

※人口: 2024(令和6)年4月1日現在の住民基本台帳による。

計画の策定にあたって

●計画策定の趣旨

中山間地域が抱える課題に向き合い、地域の魅力や資源を最大限に活用しながら、持続可能な地域づくりを進めることが重要であることから、個人、各種団体、企業、行政等が中山間地域の将来像を共有するとともに、将来像を実現するための指針と具体的な事業を示すため、第3次中山間地域振興計画を策定することとします。

●計画の期間

2025(令和7)年度から2029(令和11)年度まで(5年間)

第3次浜松市中山間地域振興計画(案) 体系図

基本理念

自然との調和、豊かな暮らし、あふれる魅力
 ～浜松の中山間地域から新たな息吹～

目標

- ① 中山間地域の市民が、地域に対する「愛着」や「誇り」を持ち、笑顔で幸せを実感して生活できる、持続可能な地域社会の構築を目指します。
- ② みんなが「中山間地域は魅力的・大切な地域（浜松の宝）」である。」と思える地域を目指します。

重点方針

主要施策

主な取組

重点方針	主要施策	主な取組	
1 まち	「まち」が元気でいつまでも安全・安心に暮らせる中山間地域	1 地域コミュニティ機能の維持・活性化	<ul style="list-style-type: none"> 近隣集落同士の連携や都市部との連携、NPO法人や企業などの参画を促し、地域コミュニティ機能の維持・活性化を進める。 高齢者の生活に関わる住民組織や介護、福祉サービスを提供する事業者等と「生活支援体制づくり協議体」を定期開催している。協議体を通じて、生活支援に関するニーズやサービスについて情報交換を行い住民組織、事業者、行政が連携し地域力向上を図る。
		2 移住・定住の促進	<ul style="list-style-type: none"> 移住コーディネーターと協力して、移住希望者一人ひとりに寄り添った情報提供や相談対応を行うとともに、移住者が地域に受け入れられる体制を構築する。 移住希望者が地域の情報を聞くことができる店舗の情報を発信するなど、地域が移住者を受け入れる体制を整える。
		3 遊休財産の活用	<ul style="list-style-type: none"> 市が保有する遊休財産を利用した中山間地域振興に資する取り組みを支援する。 空き家の所有者に適正な管理を行うよう指導する。 農用地を維持、管理していく集落の活動を支援し、農業生産活動の継続を図る。
		4 歴史的・文化的資産を活用した地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> 市民協働で文化財の保存・活用を行うために、文化財に関する市民の興味・関心及び知識の向上を図るとともに、文化財に携わる人材の育成を推進する。 学校等との連携により無形民俗文化財の次世代への継承を支援する。
		5 地域の交通手段の確保	<ul style="list-style-type: none"> 通学バス・通院バスなどにデジタル技術を活用し、目的に応じた輸送サービスを提供する。 路線バスや地域バス、NPOタクシーなどの交通手段を組み合わせることで、地域の日常における交通手段を維持する。 地域・交通事業者・行政が連携して地域バスの運行計画を作成する。またPDCAサイクルによる改善を行うことで維持を図る。
		6 社会基盤格差の是正	<ul style="list-style-type: none"> 道路ネットワーク機能の強化や通信技術の活用により、安心して生活できる環境づくりを推進する。 三遠南信自動車道の整備に合わせ、国道152号の現道改良工事を推進するとともに、災害予防や応急対策へつなげる。 「浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム」を通じた地域課題への対応や、交通網のネットワーク形成により「地域の活性化」につなげる。
		7 生活用水の安定的な確保	<ul style="list-style-type: none"> 施設の更新や水質検査・維持管理に対する補助、地域水道に精通する水道業者による施設の維持管理に関する相談・助言、濁水・濁水等により生活用水や飲料水を確保できなくなった際の水の宅配（臨時給水）など、安定的な水の確保を目的とした支援を継続していく。
		8 保健、医療、福祉の確保	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病やフレイル予防等の健康教育などを開催することで、地域住民の社会参加や身体機能の維持増進を支援する。 地域住民の適切な受診を支援するため、交通空白地有償運送事業者、地域の高齢者施設等と連携して通院支援体制の向上を図る。 市内の介護サービス事業所が中山間地域の住民へ在宅サービスを提供した際の交通費等の経費の一部を助成する。
		9 防災対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域の地形的な特性を踏まえ、水・食糧等の備蓄の拡充・強化を図る。 橋りょうなどの老朽化への対応強化及び大雨時の土砂災害に備えた道路斜面对策を行う。 消防団員OBや自主防災隊を活用した住民同士の連携による地域防災力の向上を図る。
2 ひと	「ひと」のつながりを大切にし、ともに支える中山間地域	10 中山間地域交流プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域に存在する地域資源や人的資源、観光資源を交流に結びつけるため、情報発信を強化し、地域の魅力を広く発信する。 シティプロモーション事業やフィルムコミッション事業を通じて、中山間地域の地域資源・人的資源を本市が有する多様な魅力のひとつとして活用する。
		11 地域資源を強みにした誘客の促進	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域の気候や風土が生んだ地元食材や、習慣、伝統などにより育まれた食を楽しみながら旅する、ガストロノミーツーリズムを推進する。 (公財)浜松・浜名湖ツーリズムビューローと協力し、地域で構築されたツアーを着地型旅行商品として販売する。
		12 関係人口・交流人口の創出	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域と都市部のさまざまな年代や個人・企業・団体などが交流する機会を設け、交流から協働へ繋げる。 豊かな自然環境を活かしたグリーンツーリズムや農林業体験などを通して、中山間地域の地域資源を活用した交流の促進を図る。 SNS等を活用して地域の情報を発信し、地域外からの観光客やインバウンド（訪日外国人旅行）を促進する。
		13 子育てができる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 保育ママ事業や放課後子供教室など、働きながら安心して子育てできる環境を整備する。 中山間地域親子ひろばや訪問ヘルパーの拡充など、子育て世代が交流や相談ができる子育てしやすい環境の充実を図る。 市立幼稚園において、園の適正配置や交流事業などにより「集団での学び」を確保する。
3 しごと	地域の資源や特性を活かした「しごと」を創出し維持する中山間地域	14 農産物の特産品化、6次産業化の推進	<ul style="list-style-type: none"> お茶やそばなど地域農産物が持つ魅力発信を強化し、認知度の向上を図る。 優良農地の保全に努めるとともに生産技術を高めることで、農産物の生産性向上を図る。
		15 儲かる林業への進化	<ul style="list-style-type: none"> FSC森林認証を活用した天竜材のブランド化及び価値最大化により、「儲かる林業」へ進化させ、林業従事者の確保や森林管理の強化を目指す。 森林の新たな価値を生み出すため、FSC森林認証を活かしたカーボンクレジットの登録・発行を目指す。 中長期的な視点に立って森林と林業の将来像や森林経営・管理の方向性を示した「浜松市森林・林業ビジョン」に沿って各種事業を展開していく。
		16 働く場・新事業の創出	<ul style="list-style-type: none"> 阿蔵山産業用地開発事業により企業の誘致・立地を促進し、地域の活性化や雇用機会の創出を図る。 地域の特産品や文化、観光資源などをビジネスに組み込むための支援を行い、地域の特産品を活かした商品開発や地域ブランドの構築を支援する。
		17 有害鳥獣対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> 鳥獣の侵入防止対策や生息環境の管理、捕獲の強化などで農作物被害を抑制する。 狩猟免許の取得を促進し、新たな捕獲者の増加を図る。 ジビエ産業を中山間地域内の新たな産業とすることで、地域活性化や森林環境の保全を図る。
		18 地産地消、地産外商の推進	<ul style="list-style-type: none"> 市民と生産者の交流機会を設けて食農教育を推進することで、中山間地域の農産物の理解を深める。 生産者から販売者までが一丸となり、地域の食材を味わう感動を消費者へ届けることを目指す「浜松パワーフードプロジェクト」の取組を推進する。
		19 小売・サービス業の振興	<ul style="list-style-type: none"> 商店街の活性化に向けた取り組みを支援し、商業・サービス業の維持・向上を図る。 創業や事業承継による小売、飲食・サービス業などの創出や維持を支援する。 商工会等と連携し、セミナーの開催や相談などにより、創業・事業承継を支援する。